



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411

ウィートンの消防署訪問

校長 三原 洋一

今年も本校の運動会には、ウィートン消防署(The Wheaton Volunteer Rescue Squad)から救急隊員の成田さんにボランティアでご協力いただきました。万が一の事故に備え、終日会場に待機していただいております。このご支援に心から感謝しております。

先日、そのお礼をお伝えするため、ウィートン消防署の救急隊員のミーティングに伺いました。会議の前に、隊員の皆さんの前で私から感謝の言葉を述べるとともに、隊長の Mr. Dempsey に本校からの感謝状をお渡ししました。



成田さんのお話によると、アメリカの消防士には2種類の職員がいるそうです。一つは給料を受け取るフルタイムの職業消防士

(Career Firefighters)、もう一つは無給または少額の報酬で活動するボランティア消防士(Volunteer Firefighters)です。ウィートン消防署では、職員の半数以上がボランティア消防士で構成されているとのことでした。ボランティア消防士も基本的な訓練や資格取得が必要で、職業消防士と同様に火災対応、救急活動、災害支援などに従事している



そうです。

また、ウィートン消防署のホームページによれば、この署は1955年の創設以来、毎日24時間体制でウィートンおよびその周辺地域に救急車、救急医療、消防救助サービスを提供しているボランティア部隊です。2022年には、90,000時間を超えるボランティア活動により10,000件以上の緊急9-1-1コールに対応し、メリーランド州モントゴメリーカ운터で最も忙しい救急隊として知られているようです。



アメリカでは、消防サービスが地域のニーズに応じて提供されており、とりわけボランティア消防士の貢献は地域社会の安全を支える柱の一つとなっています。地域の安全を守るために日々尽力されている皆さんに、改めて感謝の意を表したいと思います。

さらに、来年度の運動会にもご協力いただけるとのありがたいお言葉を頂戴しました。今後も、このような地域とのつながりを大切にしていきたいと考えています。



ありがとう「聖心SR校」

本校が、現在の聖心ストーンリッジ校を借用させていただいたのが、今から9年前の平成27年（2015年）の4月のことです。それまで、アカデミー校、ホーリー・クロス校、セント・ルーク校の3つの校舎に分かれていた学校を一つの場所で運営できるようにしたいという願いを実現するために、当時の事務局長が地域の学校を何校も訪ねてお願いをして回り、大変な時間をかけてご苦勞の末、現在の学校に借用の許可をいただいたと聞いています。

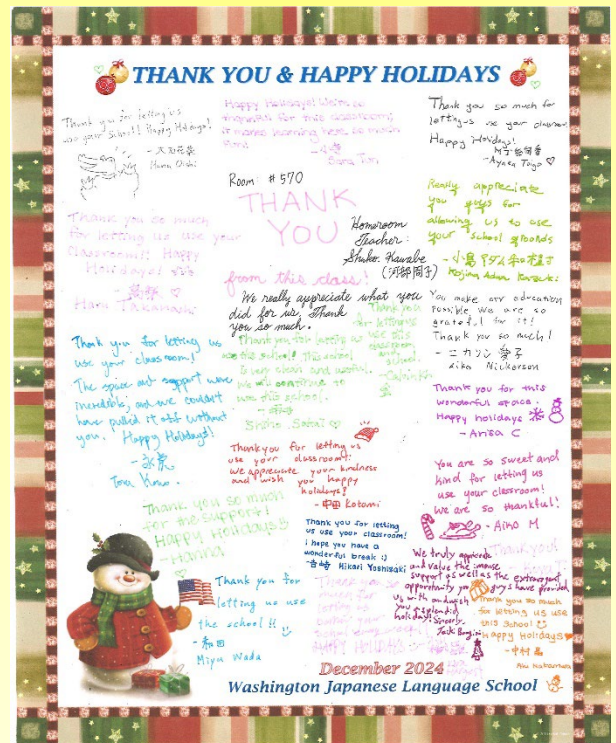
今年も、ワシントン日本語学校では、日々の学びの場を提供してくださっている聖心ストーンリッジ校に対し、深い感謝の気持ちを込めて、各教室の先生と生徒からの「ありがとうレター」を送る取り組みを行いました。

このレターには、本校の子どもたちの日々安

全で快適な環境の中での学びが聖心ストーンリッジ校のサポートによって実現していることへの感謝が込められています。

今年は、聖心ストーンリッジ校の先生や生徒に思いが伝わるように、できるだけ英語を使ってメッセージをつくり上げました。

ワシントン日本語学校の教育活動がこれほど円滑に行われているのも、聖心ストーンリッジ校のご厚意があってこそです。今後もこのご縁を大切に、感謝の気持ちを忘れずに教育活動を続けてまいります。



青い封筒募金キャンペーン

先週から始まっている「第13回募金キャンペーン」に、今年は、生徒会委員が協力をしています。朝の9:00～9:20に入口C前で運営委員会の皆様とともに呼びかけ運動を行っていますので、募金へのご協力をお願いします。

(生徒会担当学年)

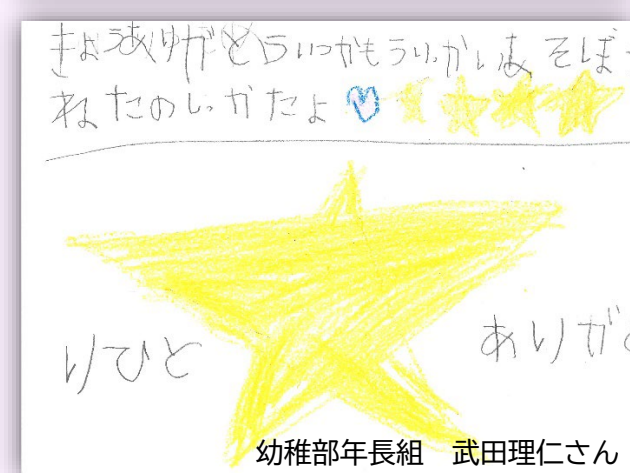
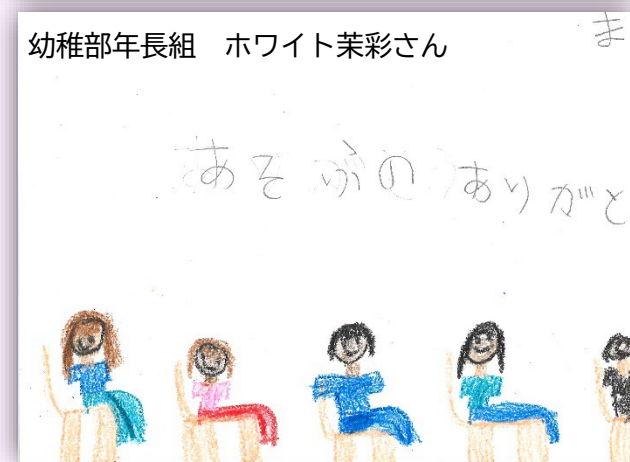
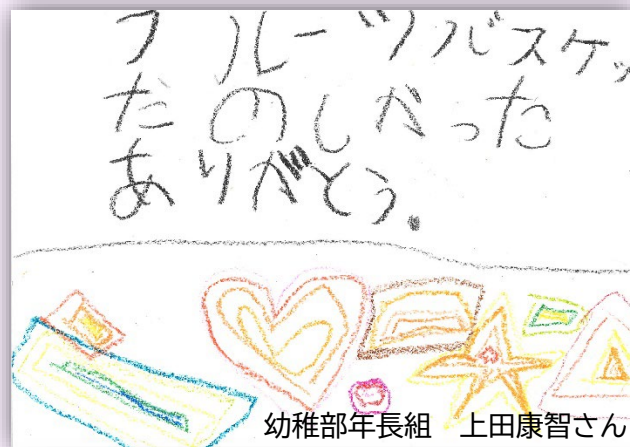
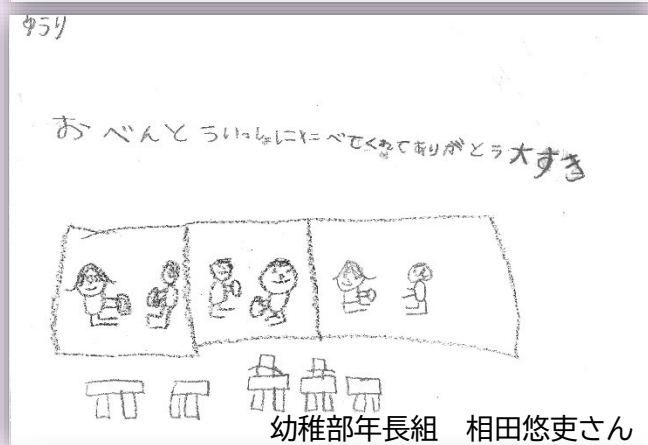
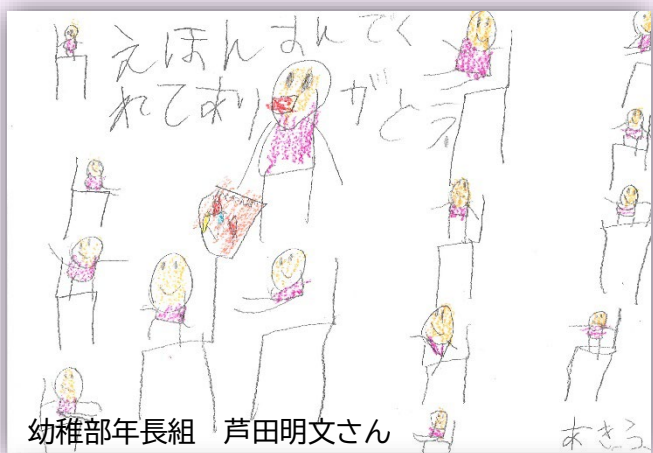
12月 7日・・・高2、小6

12月 14日・・・中3、中2、小5

1月 25日・・・高1、中1



秋のピクニックデーの感想文・画の紹介



秋のピクニックデーの感想文紹介

○小学部 6 年 三浦そらさん

皆で、歌って踊って、体を動かしたことは、仲を深めるきっかけになったので、今回の目的を果たすことができたと思います。だけど、外でやった方が、お弁当の時でももり上がると思いました。

○小学部 6 年 リー花奈さん

今日のピクニックは、4年生といっしょにあそべたりできて楽しかったです。ふだんはできないことがあったり、はじめて会った人と笑ったりできて楽しかったです。

○中学部 3 年 サマーロックソフィアさん

今年の秋のピクニックでは、日頃あまり接することのない小さい子供(生徒たち)と仲良くなれた。

一年生のこどもたちと一緒に弁当を食べ、「フルーツバスケット」などのゲームをした。一緒にゲームをしたので、距離が一気に縮まったように感じた。みんな楽しそうにしていた。特に私とペアになったこどもは、私のことを知りたがって色々質問してきたので、非常に仲良くなった。

このことを通して、学校では、勉強するだけでなく、下の学年のこどもたちの世話をしたり、ロールモデルになることも大切だと感じた。

○中学部 3 年 マクスウェル史翔さん

私は今回のピクニックで日本語学校 2 回目の参加で、前回同様にとても楽しい思い出になりました。久しぶりにピクニックをして初めて会う子たちだったので、最初はとても緊張しましたが、教室でペアの一年生のひろ君とお弁当と一緒に食べた際、ひろ君が興奮しながら楽しそうにサッカー日本代表の話をしてくれて、私自身もサッカー日本代表に興味

を持ち、今度サッカーを見てみようかなと思い、とても楽しい時間になりました。

そして、小学一年生の子達と伝言ゲームをしました。その際みんな順番に言葉を後ろの人に伝えていくのですが、途中で言葉が伝わらずに最終的には違う言葉になったりしてしまふことがありとても面白かったです。特に小学 1 年生の子たちはよく聴き間違いや間違った言葉を言うってしまうのでそれが可愛くて笑ってしまいました。

そして、最後にフルーツバスケットをしました。フルーツバスケットは一つのグループが真ん中に立ちお題を言います、そのお題に当てはまるグループは立ち上がって他の場所へ移動しないといけません。ですが、最後に残ったグループが次は真ん中に立ちお題を出します。一見とても難しそうな遊びに見えましたが、すぐに皆慣れて盛り上がって楽しかったです。

今日はいっぱい遊んだりお弁当と一緒に食べただけではなく、小学 1 年生の子たちと一緒に過ごすことによって大人になった気分になり、優しく教えてあげたり伝えることの大切さを実感しいい体験になったなと思います。

○中学部 3 年 後藤桜さん

今回の秋のピクニック企画で、一年生たちを遊びや会話の中などで楽しませることができてよかったと思います。教室の中では机が 4 つずつに配置されていたので、二組ごとに座り、簡単な会話やしりとりなどをしました。ゲームでは伝言ゲームとフープで遊んだ程度です。

あまり難しいことをやると混乱するかのことで単純な遊びを選び、皆が盛り上がったので企画は成功だと感じています。普段から話すことのない小 1 の生徒たちと楽しめて、いい思い出になりました。